

## 34106 難病患者等の支援

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 取組内容

1. 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
2. 難病患者及びその家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。

### 1 原子爆弾被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対するがん検診を実施しました。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給しました。

#### (1) 定期健康診断実施状況

平成19年度

	手帳交付数	受診者数	
		第1回	第2回
熊野市	6	5	4
御浜町	1	1	0
紀宝町	1	1	1
計	8	7	5

#### (2) がん検診状況

平成19年度

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
受診者数	0	0	0	0	0	0

#### (3) 各種手当受給状況

平成19年度

	健康管理手当	保健手当(定額)	家族介護手当	葬祭料
熊野市	3	0	0	0
御浜町	1	0	0	1
紀宝町	1	0	0	0
計	5	0	0	1

## 2 難病対策事業

原因不明の疾患(難病)に対して、国において原因究明、治療研究を行い、うち45疾患(平成20年3月末現在)について医療費の補助を行い、医療費の軽減と治療の促進を図りました。

平成20年3月末現在

病名	熊野市	御浜町	紀宝町	計
1. ベーチェット病	4	0	2	6
2. 多発性硬化症	1	0	1	2
3. 重症筋無力症	2	1	0	3
4. 全身性エリテマトーデス	7	3	3	13
5. スモン	1	0	0	1
6. 再生不良性貧血	1	1	1	3
7. サルコイドーシス	3	3	1	7
8. 筋萎縮性側索硬化症	2	0	2	4
9. 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	9	2	8	19
10. 特発性血小板減少性紫斑病	7	4	0	11
11. 結節性動脈周囲炎	1	1	0	2
12. 潰瘍性大腸炎	14	4	6	24
13. 大動脈炎症候群	3	0	0	3
14. ビュルガー病	4	1	0	5
15. 天泡瘡	1	0	1	2
16. 脊髄小脳変性症	4	4	1	9
17. クローン病	1	1	2	4
18. 難治性の肝炎のうちの劇症肝炎	0	0	0	0
19. 悪性関節リウマチ	0	0	1	1
20. パーキンソン病関連疾患	32	12	24	68
21. アミロイドーシス	0	0	0	0
22. 後縦靭帯骨化症	7	6	3	16
23. ハンチントン病	0	0	0	0
24. モヤモヤ病	2	0	2	4
25. ウェゲナー肉芽腫症	0	1	1	2
26. 特発性拡張型心筋症	2	4	4	10
27. 多系統萎縮症	2	2	1	5
28. 表皮水疱症	0	0	0	0
29. 膿疱性乾癬	0	0	0	0
30. 広範脊柱管狭窄症	1	0	0	1
31. 原発性胆汁性肝硬変	2	1	1	4
32. 重症急性膵炎	0	0	0	0
33. 特発性大腿骨頭壊死症	1	0	0	1
34. 混合性結合組織病	3	1	1	5
35. 原発性免疫不全症候群	0	0	0	0
36. 特発性間質性肺炎	0	0	0	0
37. 網膜色素変性症	5	7	3	15
38. プリオン病	0	0	0	0
39. 原発性肺高血圧症	0	0	0	0
40. 神経線維腫症	0	1	0	1
41. 亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0
42. バット・キアリ症候群	0	0	0	0
43. 特発性慢性肺血栓栓症	1	0	0	1
44. ライソゾーム病(ファブリー病含む)	0	0	0	0
45. 副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0
合計	123	60	69	252

### 3 難病在宅ケア事業

#### (1) 事業の目的

特定疾患患者及びその家族が地域で安心して生活が送れるように、保健・医療・福祉が一体となった在宅ケアシステムづくりを目指します。

#### (2) 対象者

熊野保健福祉事務所管内の難病患者とその家族

#### (3) 事業実施内容

##### (ア) 在宅療養支援計画策定・評価事業

疾患系	支援計画策定件数	支援計画評価数	備考
膠原系			
消化器系			
神経系	3	3	
血液系			
循環器系			
計	3	3	

##### 関係機関連絡会議

開催年月日	平成19年4月5日(木)
関係機関名	本人及び妻 病院(神経内科医師) 市包括支援センター(ケアマネージャー) 訪問看護ステーションほほえみ(看護師) 2名(うち1名はケアマネージャー) 熊野保健福祉事務所(保健師)
検討内容及び課題	1 内容:調整会議 2 結果 医療機関及び専門医が変更されたことに伴う連絡調整を行った。

##### 関係機関連絡会議(訪問リハビリ同時実施)

開催年月日	平成20年2月7日(木)
関係機関名	本人・妻 病院(理学療法士) 訪問看護ステーションほほえみ(ケアマネージャー) 市(保健師) 熊野保健福祉事務所(保健師)

検討内容及び課題	1 内容：調整会議 2 課題 在宅生活における困り事に、具体的に対応。 今後、状態悪化が予測されることから、必要時にケア会議を開催し、関係者間の意思統一及び連携を強化する。
----------	---

関係機関連絡調整

開催年月日	平成20年3月21日（金）
関係機関名	家族（3名） 紀南病院（主治医、病棟看護師3名、MSW） ケアマネージャー、訪問看護師、訪問入浴担当者、ヘルパー 熊野保健福祉事務所（保健師）
検討内容及び課題	1 内容：退院に向けての連絡調整 2 課題 人工呼吸器装着など医療ニーズの高いケースが退院するため、関係者間の調整が必要となる。 定期的な訪問や関係者間連携により、在宅ケア体制の整備を行う必要がある。

(イ) 医療相談事業（地域難病相談会）

相談 班数	回数	延人員	実人員	相談班延従事人数						
				医師	看護師	保健師	栄養士	患者会	センター	計
1	1 (尾鷲 庁舎)	10	10	2		5 (熊野 保健福 祉事務 所 2名 含む)		10	2	19

対 象 者	疾患名	対象者数	
		本人及び家族	計
	難病全般	10	10
相 談 内 容	病気・病状に関すること 治療・服薬に関すること 看護・日常生活に関すること 福祉制度に関すること その他	投薬による体質変化について 1件 ステロイド剤の使用方法について 1件 緊急時対応をしてくれる医療機関がないこと の不安 1件 家族の疾患に関する不安 1件	

(ウ) 訪問相談事業

疾患系		計画回数	延人数	実人員	備考
膠原系					
消化器系					
神経系	A L S	10	4	2	
血液系					
循環器系					
計		10	4	2	